

# ハンガリー

Hungary

	2012年	2013年	2014年
①人口：988万人（2014年）			
②面積：9万3,024km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：1万3,381米ドル （2014年）			
④実質GDP成長率（%）	△1.5	1.5	3.6
⑤消費者物価上昇率（%）	5.7	1.7	△0.2
⑥失業率（%）	11.0	10.2	7.7
⑦貿易収支（100万ユーロ）	6,655	6,555	6,402
⑧経常収支（100万ユーロ）	1,794	4,013	4,200
⑨外貨準備高（100万米ドル）	44,506	46,389	41,901
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	99,341	88,668	85,500
⑪為替レート（1ユーロにつき、 フォロント、期中平均）	225.104	223.695	232.602

〔注〕⑦：通関ベース 〔出所〕①②④～⑧：ハンガリー中央統計局、③⑨⑩：IMF、⑪：ハンガリー国立銀行

2014年におけるハンガリー経済の実質GDP成長率は3.6%と前年の1.5%を上回る成長率となった。貿易は、輸出入ともに堅調な伸びを示し、民間最終消費支出も伸びが拡大した。対内直接投資は、前年から拡大し、アジア・大洋州からの投資が目立った。日本との貿易は輸出が好調だが、輸入は4年連続で減少した。

## 前年を上回る成長率を記録

2014年のハンガリーの実質GDP成長率は企業の設備投資が牽引して3.6%と前年の1.5%を上回る成長となった。GDPを需要項目別にみると、内需は政府最終消費支出がEU補助金を活用した事業実施などにより3.4%増となり、国内総固定資本形成も11.7%増と大きく伸びて経済を牽引した。民間最終消費支出の回復も始まりつつある。外需は、財貨・サービスの輸出、輸入の主要相手国であるドイツの景気に支えられ、それぞれ8.7%増、10.0%増とGDPの成長に寄与した。

消費者物価上昇率はマイナス0.2%となった。2013年に引き続き2014年も政府による家庭向け電気・ガスなどエネルギー料金の強制値下げが実施されたことによるところが大きい。失業率は、政府が2013年に引き続き公共雇用斡旋プログラムを拡大実施したため7.7%と前年の10.2%から大幅な低下をみせた。政府は2015年には失業率は6.9%、2018年までには5.5%となると予測している。

表1 ハンガリーの需要項目別実質GDP成長率

（単位：%）

	2013年	2014年	2014年			
			Q1	Q2	Q3	Q4
実質GDP成長率	1.5	3.6	3.8	4.1	3.3	3.4
民間最終消費支出	0.2	1.6	1.0	2.1	1.1	2.0
政府最終消費支出	5.0	3.4	3.3	2.0	2.9	5.4
国内総固定資本形成	5.2	11.7	19.8	18.8	13.2	1.9
財貨・サービスの輸出	5.9	8.7	8.2	9.4	7.9	9.4
財貨・サービスの輸入	5.9	10.0	9.0	10.7	11.0	9.4

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕ハンガリー中央統計局から作成

## 強いドイツに牽引され輸出入好調

2014年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比4.2%増の846億9,000万ユーロ、輸入は4.7%増の782億8,800万ユーロとなり、64億200万ユーロの黒字となった。黒字幅は前年の65億5,500万ユーロから2.4%縮小した。

輸出を品目別にみると、最大品目は道路走行車両（エアクション車両含む、構成比15.7%）でアウディ、メルセデスの生産台数が順調に伸び、前年比31.8%増の133億3,100万ユーロとなった。輸出の39.4%を占めるドイツが50.1%増となったほか、米国が42.2%増、トルコが75.7%増、中国が102.7%増と主要輸出国向けが好調だった。通信・録音機器（7.2%）はノキアの工場閉鎖などがあり、25.4%減となった。

国・地域別ではEU28向け（構成比78.1%）は661億5,800万ユーロと前年比5.6%増となった。最大の輸出相手国であるドイツ向け（27.4%）は、10.5%増だった。道路走行車両（22.6%）が50.1%、科学・制御機器（6.8%）が21.3%増となり、通信・録音機器は13.8%減であった。EU域外では、米国向け（3.5%）は発動機が2.2倍、道路走行車両が42.2%増となったことから20.2%増、トルコは道路走行車両が75.7%増となったことなどから12.2%増となった。一方、ロシア向けは医薬品などの減少により16.0%減、混乱が続くウクライナ向けは道路走行車両などが減少し12.4%減となった。

輸入を品目別にみると、最大品目の電気・電子機器（構成比12.2%）は全体で8.5%増の95億8,900万ユーロとなった。ドイツ（33.3%）からが5.7%増、中国（7.7%）から

表2 ハンガリーの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出					輸入			
	2013年	2014年				2013年	2014年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
道路走行車両（エアクッション車両含む）	10,113	13,331	15.7	31.8	電気・電子機器	8,838	9,589	12.2	8.5
電気・電子機器	9,337	10,042	11.9	7.6	道路走行車両（エアクッション車両含む）	5,839	7,146	9.1	22.4
発電機器	7,304	7,532	8.9	3.1	通信・録音機器	6,564	5,114	6.5	△22.1
通信・録音機器	8,218	6,134	7.2	△25.4	石油製品	5,161	4,961	6.3	△3.9
一般機器	3,768	4,018	4.7	6.6	一般機器	4,301	4,789	6.1	11.4
医薬品	3,834	3,980	4.7	3.8	発電機器	3,843	4,081	5.2	6.2
事務用機器・コンピューター	3,208	3,426	4.0	6.8	ガス	2,927	3,085	3.9	5.4
科学・制御機器	2,783	3,108	3.7	11.7	医薬品	2,722	3,036	3.9	11.6
雑製品	2,032	2,122	2.5	4.5	金属製品	2,442	2,624	3.4	7.4
金属製品	1,868	1,949	2.3	4.3	事務用機器・コンピューター	2,464	2,487	3.2	0.9
合計（その他含む）	81,294	84,690	100.0	4.2	合計（その他含む）	74,739	78,288	100.0	4.7

[注] EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ハンガリー中央統計局

表3 ハンガリーの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2013年	2014年			2013年	2014年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU28	62,639	66,158	78.1	5.6	53,542	58,685	75.0	9.6
ユーロ圏	45,221	48,315	57.0	6.8	41,432	45,055	57.6	8.7
ドイツ	21,000	23,202	27.4	10.5	18,639	19,701	25.2	5.7
オーストリア	4,522	4,650	5.5	2.8	4,979	5,678	7.3	14.0
スロバキア	4,363	4,142	4.9	△5.1	4,293	4,265	5.4	△0.6
イタリア	3,842	3,892	4.6	1.3	3,289	3,453	4.4	5.0
フランス	3,614	3,807	4.5	5.3	2,841	3,719	4.7	30.9
非ユーロ圏	17,418	17,843	21.1	2.4	12,110	13,629	17.4	12.5
ルーマニア	4,600	4,596	5.4	△0.1	2,120	2,525	3.2	19.1
ポーランド	3,156	3,261	3.9	3.3	3,620	4,064	5.2	12.3
チェコ	3,057	3,219	3.8	5.3	3,057	3,550	4.5	16.1
英国	3,160	3,045	3.6	△3.6	1,381	1,361	1.7	△1.4
クロアチア	1,116	1,170	1.4	4.9	340	418	0.5	22.8
アジア・大洋州	3,099	3,437	4.1	10.9	8,010	8,032	10.3	0.3
日本	448	528	0.6	17.8	933	918	1.2	△1.6
中国	1,501	1,610	1.9	7.2	4,035	4,022	5.1	△0.3
韓国	225	253	0.3	12.5	855	1,065	1.4	24.6
ASEAN	455	420	0.5	△7.6	1,137	1,116	1.4	△1.8
インド	163	157	0.2	△3.2	275	287	0.4	4.3
ロシア	2,538	2,133	2.5	△16.0	6,421	5,464	7.0	△14.9
ウクライナ	1,946	1,704	2.0	△12.4	1,238	1,277	1.6	3.2
中東	2,503	2,122	2.5	△15.2	930	1,081	1.4	16.1
湾岸協力会議(GCC)諸国	948	374	0.4	△60.5	68	96	0.1	40.9
トルコ	1,420	1,593	1.9	12.2	551	521	0.7	△5.3
北米 (NAFTA)	3,112	3,673	4.3	18.0	2,631	1,742	2.2	△33.8
米国	2,470	2,970	3.5	20.2	1,601	1,504	1.9	△6.0
アフリカ	1,071	1,035	1.2	△3.3	105	93	0.1	△11.0
南アフリカ共和国	358	227	0.3	△36.6	36	14	0.0	△60.8
中南米	482	434	0.5	△9.9	146	162	0.2	11.2
ブラジル	303	255	0.3	△15.8	96	116	0.1	20.7
合計（その他含む）	81,294	84,690	100.0	4.2	74,739	78,288	100.0	4.7

[注] ①アジア・大洋州はASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に台湾を加えた合計値。②EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ハンガリー中央統計局

が22.9%増、ルーマニア（4.7%）からが20.3%増、チェコ（3.6%）からが22.9%増。さらに道路走行車両は最大輸入国のドイツ（43.3%）の18.6%増をはじめチェコ

（17.4%）からの輸入は前年比12.5%と増加した。ルーマニア、ポーランド、チェコなどの近隣諸国からの輸入が伸びており、それぞれ19.1%増、12.3%増、16.1%増と

（11.6%）からが25.8%増、ポーランド（4.3%）からが2.1倍、スペイン（4.0%）からが45.5%増となるなど軒並み輸入が増え、全体で22.4%増の71億4,600万ユーロとなった。

通信・録音機器（構成比6.5%）は全体で22.1%減の51億1,400万ユーロとなった。ポーランド（10.1%）、韓国（9.8%）からの輸入がそれぞれ46.1%増、22.9%増となったものの最大輸入国の中国（37.1%）からが13.1%減、またドイツ（5.4%）からが34.1%減、台湾（4.6%）からが37.4%減と大きく減少した。

国・地域別では、EU28（構成比75.0%）からが586億8,500万ユーロで9.6%増となった。自動車関連分野の好調を反映してドイツ（25.2%）からは5.7%増となったほか、フランス（4.7%）からは航空機器を中心に30.9%増と大幅な伸びをみせた。非ユーロ圏

表4 ハンガリーの国・地域別対内・対外直接投資  
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2013年		2014年	2013年		2014年
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU28	980	1,262	28.8	980	1,005	2.5
ユーロ圏	345	1,399	305.0	836	773	△7.5
オランダ	△127	1,551	-	22	636	2,777.8
ドイツ	122	677	456.4	1	1	△50.0
オーストリア	△106	560	-	△12	16	-
イタリア	378	125	△67.0	△130	4	-
ベルギー	△94	104	-	47	39	△17.0
非ユーロ圏	634	△137	-	144	232	60.5
ルーマニア	26	26	△0.2	92	45	△51.4
クロアチア	54	11	△79.9	63	170	170.5
英国	438	△426	-	△18	2	-
アジア・大洋州	124	429	247.1	95	1	△98.9
日本	44	△0	-	△1	1	-
中国	△4	92	-	△1	0	-
韓国	133	117	△12.0	41	16	△61.9
インド	7	4	△37.9	6	1	△89.3
ロシア	29	93	219.9	18	158	763.4
ウクライナ	178	59	△66.9	△17	68	-
中東	287	10	△96.6	112	20	△82.3
米国	△322	279	-	△19	354	-
アフリカ	△110	371	-	△72	0	-
中南米	252	△118	-	212	166	△21.9
ブラジル	15	12	△20.4	△16	2	-
合計（その他含む）	1,696	2,193	29.3	774	1,714	121.4

〔出所〕ハンガリー国立銀行

表5 ハンガリーの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2013年		2014年	2013年		2014年
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
金融・保険	1,193	2,068	73.4	759	388	△48.9
サービス	△341	1,901	-	968	1,103	13.9
製造業	2,643	389	△85.3	46	262	468.2
食品・飲料、たばこ	48	△204	-	1	3	168.2
繊維・アパレル	9	18	94.1	4	2	△36.4
木材、製紙	68	54	△21.3	1	2	44.1
医薬品	342	△115	-	149	87	△41.5
ゴム・プラスチック	342	119	△65.1	18	13	△29.7
金属製品	172	55	△68.2	△2	4	-
コンピューター・電気機器・光学製品	△44	120	-	56	79	40.0
電気設備	85	56	△33.8	△1	△0	-
機械	491	205	△58.3	9	△0	-
自動車・輸送機器	947	△25	-	△99	△5	-
専門的活動	△387	300	-	81	35	△56.8
情報・通信	61	153	152.8	△6	249	-
鉱業	23	35	52.7	△153	344	-
農業	43	20	△54.0	△0	△12	-
電気・ガス・暖冷房供給	△598	△271	-	4	△15	-
合計（その他含む）	1,696	2,193	29.3	774	1,714	121.4

〔出所〕ハンガリー国立銀行

なった。一方でアジア・大洋州（10.3%）からは主要国からの輸入が伸びず、全体で0.3%増の微増となった。

### ■自動車産業分野とアジア企業の進出が目立つ

2014年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フ

ロー）をみると、2013年の16億9,600万ユーロから21億9,300万ユーロと29.3%の増加となった。

対内直接投資を業種別にみると、電気・ガス・暖冷房供給分野では引き揚げ超過となった。ハンガリー国営電力会社MVMによる外国企業の傘下にあるハンガリー国内の民間のガス、電気供給会社の買収が相次いだ。情報・通信分野ではノキアの工場閉鎖があったものの2.5倍となった。通信大手のドイツテレコムが2018年までに国内全世帯のブロードバンドインターネット接続を可能にすることを政府と合意したといった動きがある。国・地域別でみると、前年に引き揚げ超過があったオランダ、オーストリアが流入超過に転じたことやドイツが約5.6倍となるなど、ユーロ圏の主要国からの投資が増加した。2014年に発表された主な対内直接投資案件をみると、自動車産業分野の投資とアジアからの投資が増えた。2014年9月にインドのタイヤメーカーのアポロタイヤは欧州への需要増に対応するため、乗用車、トラック用タイヤ生産工場建設を発表した。自動車用電動ステアリングシステムを生産するドイツのZFレンクセスターマは2万6,000平方メートル規模の新工場の

設立を発表。アウディ、メルセデス、ボルボなどに供給する。中国からは2014年9月に化学分野の安徽豊原集団（BBCAグループ）と食品・飲料分野の日照金禾集団（RZBCグループ）によるクエン酸などの食品添加物工場建設を相次いで発表した。さらに、化学分野では中国の万華実業集団がポリウレタンの材料となるイソシアネートを生産するための新プラント建設を発表している。

### ■対日輸出は自動車、肉類が好調

2014年の対日貿易はハンガリーからの輸出が前年比17.8%増の5億2,800万ユーロ、輸入は1.6%減の9億1,800万ユーロとなり、対日貿易赤字は前年の4億8,500万ユーロから3億9,000万ユーロと19.6%減少した。

ハンガリーからの輸出は、最大品目である道路走行車両（エアクッション車両含む、構成比28.1%）が26.7%

表6 ハンガリーの主要対内直接投資案件（2014年）

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
自動車部品	アポロタイヤ	インド	2014年9月	4億7,500万ユーロ	中・東欧地域での生産拠点としてハンガリーに進出決定。乗用車タイヤ1万6,000本/日、トラック用タイヤ3,000本/日を生産。2017年生産開始予定。
その他	レゴ	デンマーク	2014年3月	2億ユーロ	新工場を開所。新工場棟の床面積12万2,000㎡。250人の雇用増。
化学	安豊豊原集団 (BCAグループ)	中国	2014年9月	1億5,500万ドル	クエン酸などの食品添加物工場を建設。雇用創出規模は440人。2015年末に試験生産開始。
エネルギー	プリンツホーングループ	オーストリア	2014年5月	1億5,000万ユーロ	製紙工場用の発電所建設工事を開始。発電所の設備容量は172MW。2015年下半年に操業予定。
自動車部品	ZFレンクセスティーマ (ボッシュグループ)	ドイツ	2014年9月	1億5,000万ユーロ	2万6,000㎡規模の自動車用電動ステアリングシステム生産工場を設立。アウディ、メルセデス、ボルボなどに供給。
食品・飲料	日照金禾集団 (RZBCグループ)	中国	2014年9月	310億フォロント (約1億42万ユーロ)	食品添加物工場を建設。年間10万トンのクエン酸を製造、世界生産の5%に相当。雇用規模165人。
金属加工	プレキャスト	ドイツ	2014年4月	1億ユーロ	自動車・電子産業向け型抜き機械製造工場設立のため追加投資。
自動車部品	デンソー	日本	2014年3月	290億フォロント (9,394万ユーロ)	生産能力増強のため追加投資。500人の雇用増。
化学	万華実業集団	中国	2014年7月	8,400万ユーロ	イソシアネート生産工場の建設のため追加投資。70人の雇用増。
自動車部品	タカタ	日本	2014年3月	6,830万ユーロ	エアバック製造工場の建設開始。1,000人の雇用創出。
通信	ドイツテレコム	ドイツ	2014年2月	n.a.	2018年までに国内全世帯でのブロードバンドインターネット接続を可能にすることを政府と合意。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表7 ハンガリーの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2013年		2014年			2013年		2014年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
道路走行車両 (エアクッション車両含む)	117	148	28.1	26.7	発電機器	123	163	17.7	32.3
肉類	60	99	18.8	64.5	道路走行車両 (エアクッション車両含む)	148	159	17.3	7.4
事務機器・コンピューター	48	43	8.1	△10.4	電気・電子機器	180	144	15.7	△19.9
一般機械	25	39	7.5	59.2	通信・録音機器	143	104	11.3	△27.4
医薬品	27	30	5.7	13.4	一般機械	84	88	9.6	5.1
科学・制御機器	39	29	5.5	△25.8	金属製品	50	47	5.1	△6.3
発電機器	13	27	5.2	104.4	特殊産業用機械	9	35	3.8	269.4
電気・電子機器	20	22	4.3	10.2	非金属鉱物製品	24	33	3.6	39.9
有機化学品	22	21	4.0	△5.3	事務機器・コンピューター	27	21	2.2	△24.3
金属製品	19	11	2.0	△44.7	金属加工機械	20	15	1.6	△27.7
通信・録音機器	8	10	1.9	30.1	ゴム製品	13	14	1.5	7.1
雑製品	10	9	1.7	△7.7	科学・制御機器	23	13	1.5	△43.1
砂糖、砂糖調製品と蜂蜜	5	5	0.9	△1.8	雑製品	16	13	1.4	△15.9
合計 (その他含む)	448	528	100.0	17.8	合計 (その他含む)	933	918	100.0	△1.6

〔出所〕 ハンガリー中央統計局

系企業の新規・追加投資によるものである。電気・電子機器(15.7%)は前年に引き続き減少し、19.9%減となった。通信・録音機器(11.3%)は2013年にテレビ放送地上デジタルの切り替えが済んだことにより需要が一段落し、27.4%減となった。

### ■自動車分野の日系企業が活発な動き

増と大きく伸びた。アウディ、メルセデスが生産する高級車が日本に向けて輸出されているのに加え、スズキの新型車SX4 S-Crossの日本向け輸出が始まったことが影響している。肉類 (18.8%) は、2014年11月に日本でハンガリー産生鮮豚肉の輸入が解禁されたことから輸出が伸び、64.5%増となった。

ハンガリーへの輸入は、前年比32.3%増と大きく伸びた発電機器 (構成比17.7%) が最大品目となった。これはスズキのニューモデルのエンジン輸入が増加したものとみられる。道路走行車両 (17.3%) も7.4%増となった。特殊産業用機械 (3.8%) が3.7倍と大きく伸びたのは日

ジェットロ・ブダペスト事務所によると、ハンガリーにおける日系企業は147社 (2014年6月時点) で、そのうち製造業は46社となった。製造業46社のうち自動車・部品が63.0%、電気・電子が15.2%、その他が21.7%となっている。

2014年はハンガリーに追加投資をする日系企業もみられた。デンソーは、3月に290億フォロントを投資して生産拡張を行った。11月にエクセディダイナックスが追加投資を行った。新規では2015年3月にばね生産のニッパツが自動車用コイルばね、スタビライザ製造工場の設置を発表している。